

## 17. 眼科（選択）

### 1. 一般目標（G I O）

頻繁に遭遇する眼科領域の疾患に適切に対応できるよう、眼科プライマリーケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を修得する。

### 2. 具体的目標（S B O s）

#### （1）経験すべき症状・病態・疾患

##### 1) 頻度の高い症状に適切に対応できる

- ① 視覚障害、視野狭窄
- ② 結膜の充血

上記をおこす疾患について自ら診療し、鑑別診断を行い、レポート提出。  
また、眼科的主訴から他科疾患を疑い、専門医を紹介する能力を身につける。  
（耳鼻科、内科、脳外科、神経内科、皮膚科等）

##### 2) 緊急を要する症状・病態を把握できる

- ① 急性感染症 眼科的なもの：流行性角結膜炎、その他  
他科との関係があるもの：敗血症、髄膜炎、真菌症、特殊なウイルス感染
- ② 外傷の初期治療に参加する
- ③ 熱傷の初期治療に参加する

##### 3) 経験が求められる疾患・病態を説明できる

\* 印疾患については、外来診療又は、受持ち入院患者で自ら経験すること

- \* 屈折異常（近視、遠視、乱視）
- \* 角結膜炎（特に流行性角結膜炎）
- \* 白内障
- \* 緑内障

糖尿病性網膜症・高血圧、動脈硬化による網膜症

##### 4) 特定の医療現場に参加する

- ① 救急医療の現場を経験すること
  - ・ 眼外傷の初期治療を経験する。
  - ・ 専門医への適切なコンサルテーションができること。
- ② 予防医療の現場を経験すること
  - ・ 職場検診、人間ドック等への参加。
- ③ 地域保健・医療の現場を経験すること
  - ・ 病診連携について理解し、実践する。
- ④ 小児・成育医療の現場を体験すること
  - ・ 乳幼児検診、学校検診への参加、市の発達障害センターの見学。
  - ・ 未熟児網膜症の定期的な検診、母子健康手帳を理解し、活用する。

### 3. 方略

#### 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	入院・外来患者の診察	手術 小児の診察	入院・外来患者の診察	入院・外来患者の診察	入院・外来患者の診察
昼		硝子体注射		硝子体注射	
午後	視野・網膜電図等特殊検査 光凝固術 *発達センター	手術	蛍光眼底撮影等特殊検査 光凝固術	手術	視野・網膜電図等特殊検査 光凝固術
15:30		未熟児診察	術前診察		未熟児診察
16:30	術前診察		症例検討会		

\*第3月曜日のみ

### 4. 評価

#### (1) 形成的評価

各疾患の外来・入院患者を上級医師と診察し、カンファレンス等でそれぞれ経験した疾患に対するレポートを発表することで、正しい病態の知識や診療技能の修得に役立てる。

#### (2) 総括的評価

具体的目標に挙げた眼科疾患における診療態度、技能を EPOC2 に従って評価する。